
教育課程の概要

1) 助産学基礎領域

『助産学基礎領域』は、助産学の基礎となる知識として概念や、倫理、人権について学び、助産師としてのアイデンティティの基礎を築く8科目を設定した。

「助産学概論」、「ヒューマンセクシュアリティ論」、「生命倫理と生殖医療」の3科目は母子の命の尊重、母子と両者に関わる倫理的な課題について修得できる科目とする。

「周産期医学Ⅰ」、「周産期医学Ⅱ」、「新生児・乳幼児学」は、母子の身体的な変化・適応、成長・発達についての基礎的な知識を修得する科目と位置付ける。

「家族社会学」、「母子の健康科学」は、女性のライフサイクル全般を通して健康障害を引き起こさないための環境調整と健康支援について学び、家族の成長を支援する方法を知る科目とする。

2) 実践助産学領域

『実践助産学領域』13科目は、助産診断・技術を学び、助産ケアと助産管理、地域母子保健についても知識と技術を修得する。講義・演習・実習科目を設定した。「助産診断学・技術学Ⅰ」、「助産診断学・技術学Ⅱ」、「助産診断学・技術学Ⅲ」、「フィジカルアセスメント」は、助産診断を行い、妊娠・分娩・産褥期にわたる継続的な支援を強化する助産ケアを実践するための基礎的能力として演習科目として設定する。この科目においては、他職種と信頼関係を築き、協働するための高いコミュニケーション能力を習得し、母子の安全と確実な技術を修得するために、筆記試験に加え、技術試験を課して、自律して助産実践ができる能力を育成する。「周産期ハイリスクケア論」は、正常からの逸脱を判断し、異常を予測する臨床推論能力を養い、ハイリスク母児のケアが行えるための実践的知識を修得する。「地域母子保健論」、「助産管理」、「女性の健康支援と健康教育」の科目は、地域における子育て世代を包括的に支援する能力を養い、産後4カ月程度までの助産師の役割と活動の場を広く捉え、母子保健活動が展開できる力を養成する。また、「助産管理」では、平時の災害への備えと被災時の対応について知識を修得する。

3) 助産学関連領域

『助産学関連領域』2科目は、助産実践を行うための女性のセルフケアの向上を目指し、「周産期代替補完療法」、女性とその家族のライフサイクルにおける課題に対応するための「ウイメンズヘルスケア論」を配置し、助産活動に必要な知識・技術を修得するための科目群とした。

■ 別表 助産師に求められる実践能力と修了時の到達目標

○修了時の到達度レベル

I：少しの助言で自立してできる II：指導のもとでできる III：学内演習で実施できる IV：知識としてわかる

実践能力	修了時の到達目標				到達度	
	大項目	中項目	小項目			
Ⅰ．助産における倫理的課題に対応する能力	1. 母子の命の尊重		1	母体の意味の理解し、保護する	Ⅱ	
			2	子どもあるいは胎児の権利の擁護する	Ⅱ	
			3	両者に関わる倫理的に対応する	Ⅱ	
Ⅱ．マタニティケア能力	2. 妊娠期の診断とケア	A. 妊婦と家族の健康状態に関する診断とケア	4	時期に応じた妊娠の診断の方法を選択する	Ⅰ	
			5	妊娠時期を診断（現在の妊娠週数）する	Ⅰ	
			6	妊娠経過を診断する	Ⅰ	
			7	妊婦の心理・社会的側面を診断する	Ⅰ	
			8	安定した妊娠生活の維持について診断する	Ⅰ	
			9	妊婦の意思決定や思考を考慮した日常生活上のケアを行う	Ⅰ	
			10	妊娠や家族への出産準備・親準備を支援する	Ⅰ	
			11	現在の妊娠経過から分娩・産褥の予測し、支援する	Ⅰ	
			12	流早産・胎内死亡など心理的危機に直面した妊産婦と家族のケアを行う	Ⅱ	
			B. 出生前診断に関わる支援	13	最新の科学的根拠に基づいた情報を妊婦や家族に提供する	Ⅱ
				14	出生前診断を考える妊婦の意思決定過程を支援する	Ⅲ
			3. 分娩期の診断とケア	C. 正常分娩	15	分娩開始を診断する
	16	分娩進行状態を診断する			Ⅰ	
	17	産婦と胎児の健康状態を診断する			Ⅰ	
	18	分娩進行に伴う産婦と家族のケアを行う			Ⅰ	
	19	経膈分娩を介助する			Ⅰ	
	20	出生直後の母子接触・早期授乳を支援する			Ⅰ	
	21	産婦の分娩想起と出産体験理解を支援する			Ⅱ	
	22	分娩進行に伴う異常発生の予測し、予防的に行動する			Ⅰ	
	D. 異常状態	23		異常発生時の観察と判断をもとに行動する	Ⅱ	
		24		異常発生時の判断と必要な介入を行う		
		(1)		骨盤出口部拡大体位をとる		Ⅰ
		(2)		会陰の切開及び裂傷に伴う縫合を行う		Ⅲ
		(3)		新生児を蘇生させる		Ⅲ
		(4)		正常範囲を超える出血への処置を行う		Ⅲ
		(5)		子癇発作時の処置を行う		Ⅳ
		(6)		緊急時の骨盤位分娩介助を介助する		Ⅳ
	(7)	急速墜娩術を介助する		Ⅱ		
	(8)	帝王切開前後のケアを行う		Ⅱ		
	25	児の異常に対する産婦、家族への支援を行う		Ⅳ		
	26	異常状態と他施設搬送の必要性を判断する		Ⅳ		
	4. 産褥期の診断とケア	E. 褥婦の診断とケア	27	産褥経過に伴う身体回復を診断する	Ⅰ	
			28	褥婦の心理・社会的側面の診断を診断する	Ⅰ	
			29	産後うつ症状の早期発見し、支援する	Ⅱ	
			30	褥婦のセルフケア能力を高める支援を行う	Ⅰ	
			31	褥婦の育児に必要な基本的知識と技術支援を行う	Ⅰ	
			32	新生児と母親、父親、家族のアタッチメント形成を支援する	Ⅰ	
			33	産褥復古が阻害されるか否かの予測し、予防的ケアを行う	Ⅰ	
			34	生後1か月までの母児の健康状態を予測する	Ⅰ	
			35	生後1か月間の母子の健康診査を行う	Ⅰ	
			36	1か月健康診査の結果に基づく母子の家族の支援し、フォローアップする	Ⅱ	
			37	母乳育児に関する母親に必要な知識を提供する	Ⅰ	
			38	母乳育児に関する適切な授乳技術し、乳房ケアを行う	Ⅱ	
			39	母乳育児を行えない/行わない母親を支援する	Ⅰ	
			40	母子愛着形成の障害、児の虐待ハイリスク要因の早期発見し、支援する	Ⅱ	
		F. 新生児時の診断とケア	41	出生後24時間までの新生児の診断とケアを行う	Ⅰ	
			42	生後1か月までの新生児の診断とケアを行う	Ⅰ	
		G. ハイリスクの母子のケア	43	両親の心理的危機を支援する	Ⅱ	
			44	両親のアタッチメント形成に向けて支援をする	Ⅰ	
45			NICUにおける新生児と両親への支援を支援する	Ⅳ		
46			次回妊娠計画への対応と支援を行う	Ⅱ		
5. 出産・育児期の家族ケア		47	出生児を迎えた生活環境や生活背景をアセスメントする	Ⅰ		
		48	家族メンバー全体の健康状態と発達課題をアセスメントする	Ⅰ		
		49	新しい家族システムの成立とその変化をアセスメントする	Ⅱ		

(次ページへつづく)

実践能力	修了時の到達目標			到達度
	大項目	中項目	小項目	
Ⅱ．マタニティケア能力	5. 出産・育児期の家族ケア		50 家族間の人間関係をアセスメントし、支援する	Ⅱ
			51 地域社会の資源や機関を活用できる支援	Ⅱ
	6. 地域母子保健におけるケア		52 保健・医療・福祉関係者と連携する	Ⅱ
			53 地域の特性と母子保健事業者をアセスメントする	Ⅱ
			54 消費者グループのネットワークへ参加し、グループを支援する	Ⅳ
			55 災害時の母子への支援を行う	Ⅳ
	7. 助産業務管理	H. 法的規定	56 保健師助産師看護師法等に基づく助産師の業務管理を行う	Ⅳ
		I. 周産期医療システムと助産	57 周産期医療システムの運用と地域連携を行う	Ⅳ
			58 場に応じた助産業務管理の実践する	
			(1) 病院における助産業務管理を実践する	Ⅳ
			(2) 診療所における助産業務管理を実践する	Ⅳ
			(3) 助産所における助産業務管理を実践する	Ⅳ
Ⅲ．性と生殖のケア能力	8. ライフステージ各気の性と生殖のケア（マタニティステージを除く）	J. 思春期の男女の支援	59 思春期のセクシュアリティ発達を支援する	Ⅲ
			60 妊娠可能性のあるケースへの対応と支援を行う	Ⅳ
			61 二次性徴の早・遅発ケースの対応と支援を行う	Ⅳ
			62 月経障害の緩和と生活支援をする	Ⅲ
			63 性感染症予防とDV予防の啓発を行う	Ⅳ
		K. 女性とパートナーに対する支援	64 家族的支援と教育関係者及び専門職との連携し、支援する	Ⅳ
			65 家族計画（受胎調節法を含む）に関する選択・実地を支援する	I
			66 健康的な性と生殖への発達支援と自己決定を尊重する	Ⅳ
			67 DV（性暴力等）による予防と被害相談者への対応、支援を行う	Ⅳ
			68 性感染症罹患のアセスメント・支援及び予防に関する啓発活動、他機関と連携して行う	Ⅳ
		L. 不妊の悩みを持つ女性と家族にⅡ．マタニティケア能力に対する支援	69 生活自立困難なケースへの妊娠・出産・育児に関する情報提供し、支援する	Ⅳ
			70 不妊治療を受けている対象の理解と自己決定を支援する	Ⅳ
			71 不妊検査・治療等の情報提供と資源活用を支援する	Ⅳ
			72 家族を含めた支援と他機関と連携を行う	Ⅳ
		M. 中高年女性に対する支援	73 健康的なセクシュアリティ維持に関する支援と啓発を行う	Ⅲ
			74 中高年の生殖器官に関する健康障害の予防と日常生活を支援する	Ⅳ
			75 加齢に伴う生殖器官の健康管理とQOLを支援する	Ⅳ
Ⅳ．専門的自律能力	9. 助産としてのアイデンティティの形成		76 助産師としてのアイデンティティの形成する	I